

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	青少年の家	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 川崎市青少年の家共同運営事業体 ・代表者名 財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 小宮山 健治 川崎市中原区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター 理事長 宮田 進 川崎市高津区下作延5-11-8	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 35,307人 (うち日帰り9,508人)	②年間延べ利用団体数 757団体 (うち日帰り334団体)
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 75,436,000 利用料金収入 12,894,125 - その他収入 1,727,445 合計 90,057,570 2 支出 人件費・賃金 21,996,607 光熱水費 19,749,411 委託費 30,406,185 消耗品費 1,647,901 修繕費 11,503,476 - その他経費 11,548,680 合計 96,852,260 3 差引 -6,794,690	
サービス向上の取組	指定管理以前からの運営ノウハウを生かし、学校との連携事業や民間事業者との共催事業など充実した事業展開を実施していた。また、青少年ボランティアを育成し、事業に参画させることで、青少年の社会参加が図られていた。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
(評価の理由) 青少年ボランティアを育成し、事業に参画させることで、青少年の社会参加が図られていた。また、各種専門機関の協力を得て、「こどもエコチャレンジクラブ」など充実した事業展開が実施されていた。なお、概ね直営時と変わらない利用者数(平成17年度比-6.5%)であった。 【参考】平成17年度利用者数:37,747人、同利用団体数739団体					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
(評価の理由) 指定管理者の内規に基づく、適正な会計処理が行われた。また、収支で指定管理料比約9%の赤字を計上したが、東日本大震災の影響による利用料金収入の減と、指定管理者が自主的に施設修繕(当初予算比約40%)を実施したことによるものであるため、適正な収支と認められるものであった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 施設で宿泊研修を行いながら、各児童生徒が所属する学校に通学する「ほのぼのスクール事業」においては、小・中学校とも密な連絡調整を行い、また、当該校の教員の参加も得て実施していた。 広報においては、ウェブログを開始し、より幅広い広報を実施した。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。また、予定どおりの研修が実施され、個人情報の取扱いについても適切な運用がなされていた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	5	5
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 各種マニュアルの整備に加え、日常の保守点検や法定に定められた訓練等が確実に実施された。さらに、修繕の必要な箇所を確実に把握し、効率的・効果的な修繕に努め、多くの修繕を実施した。					

4. 総合評価

評価点 合計	66	評価ランク	C
-----------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理以前から積み上げてきたノウハウを生かし、学校との連携事業や民間事業者との共催事業など充実した事業展開を実施していた。また、青少年ボランティアを育成し、事業に参画させることで、青少年の社会参加が図られるなど、専門性を十分に発揮した事業展開を行っていた。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>次期指定管理期間においても、引き続き、青少年の体験学習や子どもの居場所づくりのため、適切な管理運営を行うこと。</p>
--